

武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター
市民力アップを目指す広報紙
No.8 (通巻111号) 2015. 6.20

Collabo-ba

■コラボ・バ■

みんなの夢「モノレールの通るまち むさしむらやま」

【Contents】

◆夏の体験ボランティア

◆協働かわらばん

◆voice -声-

◆topics -100人会議-

◆インフォメーション -講座案内-

◆センターからのお知らせ

夏2015 ボラ

夏の体験ボランティアキャンペーン（通称「夏ボラ」）は、夏の期間を利用して、さまざまなボランティア活動の中から自分に合いそうなものを選んで参加できる企画です。昨年度は、市内で約200人が参加しました。ボランティア初心者も経験者も大歓迎！今年も各関係機関や各施設、団体などの協力をいただいて実施します。

実施期間 7月22日(水)～8月30日(日)

- 対象者 原則として小学4年生以上（メニューによって異なる）
- 参加費 300円（ボランティア保険代）
 - ※すでに、加入されている方は不要
 - ※保育園希望の方は細菌検査（600円程度）が必要
 - ※メニューにより昼食代や参加費などの実費が必要な場合もあり

申し込みから振り返りまでの流れ

STEP01

ボランティア・市民活動センターへ参加申込

- ◆期間：6月23日（火）～7月19日（日）
 - ※申込用紙に必要事項を記入のうえ、ボランティア・市民活動センター窓口を持参
 - ※ファックス又はインターネットで7月19日までに申込み
 - ※申込用紙及びメニューは、ボランティア・市民活動センター、市役所協働推進課、市政情報コーナー、各地区会館及び図書館に有り（当センターのホームページからもダウンロード可能）

STEP02

オリエンテーションに参加

- ◆日時：7月10日（金）、11日（土）、17日（金）、18日（土）
 - ※金曜日は16：30～18：00、土曜日は14：00～15：30

STEP03

活動先（下記参照）に活動希望日の申し込み

- ◆期間：オリエンテーション参加後から7月21日（火）まで
 - ※申し込み方法

（電）直接電話で申し込む
（メ）メールで申し込む
（ネ）インターネットで申し込み、定員を超える場合は抽選。結果を確認後、自分で連絡

STEP04

ボランティア活動の実施

- ◆期間：7月22日（水）～8月30日（日）

STEP05

振り返りのアンケートを記入（活動先で提出）



受け入れ機関・施設及び団体

【児童関係】

- （電）市内各児童館、まどか保育園、つむぎ保育園
- （ネ）つみき保育園、緑が丘保育園、三ツ藤保育園、ひまわり保育園、きし保育園、めぐみ保育園、ムサシ保育園

【高齢者関係】

- （電）高齢者在宅サービスセンター、南部地域包括支援センター、緑が丘高齢者デイサービスセンター、伊奈平苑、サンシャインホーム、NPO法人くわの実デイサービス、デイサービスフォレスト武蔵村山
- （メ）ヒューマン・ケア武蔵村山

【障害者・児関係】

- （電）身体障害者福祉センター、のぞみ福祉園、あかつきコロニー、心身障がい者（児）親子の会フレンズ、NPO法人クローバー、福生第二学園

【市民活動団体関係】

- （電）手話サークルてわの会
夏休み親子映画会
- （メ）化石と自然科学を楽しむ会
- （ネ）聴覚障害者協会&JSLCクラブ
傾聴ボランティアグループみらい
武蔵村山日本語の会
MSP
親子スズムシ教室

【イベント関係】

- （電）武蔵村山市商工会（納涼花火大会）
緑が丘ふれあいセンター
- （電）歴史民俗資料館

問い合わせ

ボランティア・市民活動センター（市民総合センター2階）

TEL: 042-590-1430 FAX: 042-590-1436

Eメール: v.shimin@musashimurayama.org ホームページ: <http://musashimurayama.org>

協働 かわらばん 3

協働事業 レポート

協働事業提案制度は、市政への市民参加を促進するとともに、市民による地域の課題、社会的課題などの解決につなげ、暮らしやすい地域社会の形成を目指すことを目的として創設されました。今年度実施される協働事業の中から、今回は「武士団・村山党の会」の事業を紹介いたします。

「武士団・村山党の会」

中世・村山郷を中心に活躍した「武蔵武士団・村山党」を活かした地域おこし



▲完成した手作り甲冑

「武蔵村山郷土かるた」には「群れ山に集いし武士団村山党」という札があります。村山党とは、平安時代後期から鎌倉・室町時代に掛けて、狭山丘陵周辺を拠点に活躍した武士団とされています。「武士団・村山党の会」の協働事業は、この「村山党」を活かしたまちおこしを目的としています。審査会では「甲冑作りを通して本市の歴史に触れる機会を設けることにより、生まれ育った地域に対し愛着を深めることは、地域のつながりを強める重要な要素である」として採択されました。事業内容は、①手作り甲冑教室、②むらやまデエダラまつり他への参加、③郷土史講演会、となっています。

手作り甲冑教室は、毎週土曜日の午後に行われており、今年度は15 領制作予定。型紙



▲甲冑制作中

をもとに特殊なボール紙を切って貼り合わせ、塗料を塗り重ね、各パーツを作り上げていきます。穴をあけてカラフルな紐を通して編み上げ、組み立てれば、美しい甲冑の出来上がりです。工程は根気と時間のかかる作業ですが、「これが紙？」とその出来栄えにはびっくりします。

この甲冑を身にまとい、武者姿となって「デエ

ダラまつり」や他のイベントなどに参加、産業観光資源となることを目指します。

事務局長の高橋さんは、「市内外の団体や村山党ゆかりの地域と積極的に交流することによって、武蔵村山市のPRにつなげていきたい」と語ります。それは、「地域おこしに参加してくれる市民を増やし、郷土に対する愛着を深めてもらいたい」という想いが根底にあってのこと。



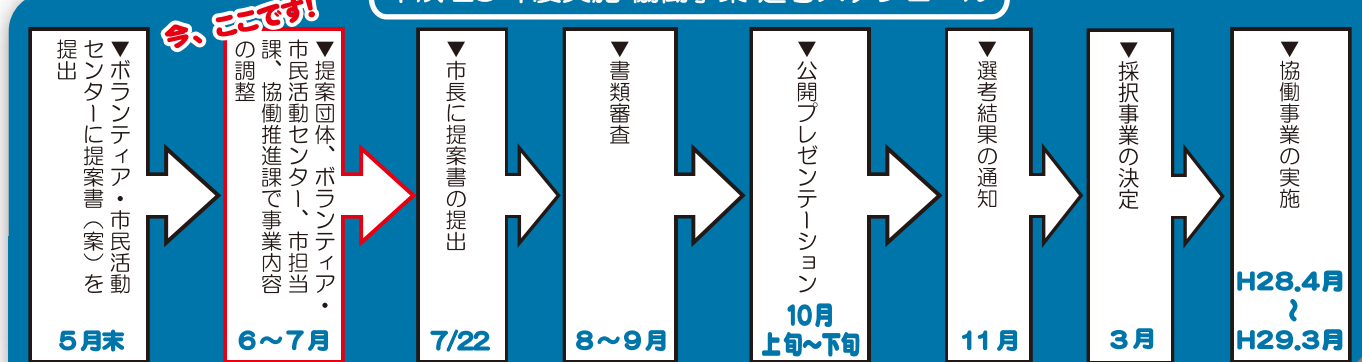
③の郷土史講演会は、5月30日(土)、「手づくり甲

▲講師の山口氏を囲んで

冑を活用した地域おこしの実践」という演題で開催されました。講師は、千葉県南房総市の「南総里見手作り甲冑愛好会」代表、山口幸夫氏。参加者は、市の担当課である産業観光課の課長はじめ、市外からの方も含め30人。甲冑を活かした豊富な地域おこし活動例などが紹介されました。小谷会長挨拶の「歴史は人の心の中でつくられるもの」というひと言が印象に残りました。

「温故知新」、明鏡国語辞典には「昔のことをよく学び、そこから新しい考え方や知識を得ること。また、過去のことを研究して、現在の新しい事態に対処すること」とあります。「武蔵武士団・村山党を活かした地域おこし」というこの協働事業が、武蔵村山市の現在と未来に結実していくことを期待したいものです。(瀬川 記)

平成 28 年度実施 協働事業 選考スケジュール



募集

第6回夏休み親子映画会～平和を考える～ 『火垂るの墓』

夏休み親子映画会



野坂昭如の同名小説をアニメ映画化。

戦争で両親を失った幼い兄妹がたどる過酷な運命を描く。

防空壕で2人だけの生活を始めるのだが……。

◆日時・場所 7月26日(日) 10時～12時 大南地区会館
14時～16時 中藤地区会館

◆料 金 大人200円 子ども100円

◆「夏休み親子映画会」問い合わせ

042-561-9952(林) 042-563-1015(古橋)

042-560-5559(細井) 090-6511-9250(今野)



募集

カフェおとなりさんの「いきいき講座」7～8月

NPO法人シニアメイトサービス

開催日	場所	講座名	内容
7月 3日(金)	おとなりさん	もの作り	布のティッシュボックスカバー
10日(金)	大南地区会館	健康講座	足ツボマッサージ
17日(金)	おとなりさん	学習講座	思い出を綴ろう(簡単自分史③)
18日(土)	//	コンサート	アイリッシュハーブ演奏
31日(金)	大南地区会館	おやつ作り	どら焼きを作ろう
8月 7日(金)	おとなりさん	学習講座	パステル画
21日(金)	//	もの作り	布地のペンケース
28日(金)	//	もの作り	アクリルたわし

※時 間 13:00～15:00(全講座共通)

※参加費 300円(別途、資料代または材料費がかかります)

◆申し込み・問い合わせ NPO法人 シニアメイトサービス TEL 042-564-0011

参加者募集

誰もがいきいきと生活するために、地域や人とのつながりを大切に、生きがいを持つことはとても大切です。ぜひご参加ください。



投稿

まいりました！私のはダメダメチラシでした

匿名希望

講座「行列のできる講座とチラシの作り方」をコラボ・バで見て、参加しました。講師の坂田静香先生の、分かり易い、魅力的な講義内容でした。ポスターとチラシ……区別して構想を練らねばならないんですね。私、今までに数えきれないほどの「ご案内チラシ」を発行してまいりました。「まいりました!!! 私のはダメダメチラシでした」

この受講を機に、たくさんの方に見ていただいて、より多くの方に足を運んでいただけるような「企画・チラシ・ポスター作り」を楽しんで行えそうな気がしてまいりました。

坂田静香先生のおっしゃられることが、私の紙面を抜け出し、他方面に浸透すると、的を得た話法や身のこなしにも応用されて「タイトな私!!」になれるかも……という前向き志向にも繋がる講座でした。



▲5月28日に行われた「行列のできる講座とチラシの作り方」講座。38人の参加者となりました。

投稿

今日から私も「武蔵村山の魅力教え隊員」に

匿名希望

5月24日、武蔵村山市青年会議所U40提案事業「ノルディックウォーキングで行く！おいしい村山を食べちゃウォーカー♪」に参加しました。天気予報は「小雨」でしたが「晴れに近い曇り」で、山歩きには最適な陽気。スタッフの清々しい「おもてなし」に嬉しさいっぱい!!

野山のきれいな空気、緑、仲間を満喫。お土産に頂いた狭山茶味のスイーツでシアワセ気分に。今日から私も喜んで「武蔵村山の魅力教え隊員」に!!

モノレールと未来 みんなで考えた

100人会議 <モノレール編>



武蔵村山の未来を語ろうと、昨年 11 月に、はじめて開いた 100 人会議。モノレールの話は出るものの、声を上げたところでも来わけでもないと思うからか、自分たちの想いを書こうという場面ではどなたも書かないというあきらめムード。しかし、次回に向けて話題を探そうと開いたことから、どの班からも出た共通の話題はというと、やはりモノレールでした。

新青梅街道の拡幅が視覚的に実感できるようになり、3 月 6 日には都知事の記者会見で、中間報告とはいえ、整備路線の 5 路線に入るという急な展開があり、タイムリーな話題になったことで勢いづき、「モノレールを呼ぼう！市民の会」は共催で、市長も予定されていたタウンミーティングを同時開催に変更していただき 100 人会議<モノレール編>の開催となりました。

当日は市内全域からの参加があり、スタッフも入れるとほぼ 100 人、市民の悲願であるモノレール延伸について、現状を知りたいという思いの方も多かったようです。市長と日本モノ

レール協会の前田氏の基調講演で、現状と今後予想される行政の動きやそのポイントを聞き、まだ越えなければならないハードルはあるものの、モノレール延伸が現実的な話題になってきたことを実感しました。後半は 3 名のパネリストが加わり、市民の日常生活での不便さや期待する未来の変化に向けた話題となり、さらに理解を深めることができました。

参加された皆さんからは、通常のタウンミーティングのように質疑応答の時間がもっとほしかったという感想もありましたが、モノレール延伸の現状についてはとてもわかりやすく、今後もぜひ参加したいという声をたくさんいただきました。最後に、ハートの付箋紙に皆さんの夢を一言書いていただき散会となりました。

これからも参加された皆さんの夢を、もっと大きく膨らませるような企画を考えていきます。



▲当日の様子

当たり前前のことが当たり前に幸せと思える、誰もが笑顔で生活できる地域であり続けて欲しいと思います。武蔵村山は最高と思える街にして欲しい。

夢がかなうチャレンジできるムラヤマであるように♡

皆でモノレール、オリンピックまでには乗りましょう。

住民同士の暖かな絆のある都市の実現。

自宅の前からモノレールに乗って通勤したい!!

モノレールができるころには子育てしやすい環境を知っていただき武蔵村山市を「子育てするにはちょうどいい環境だ」「ちょうどいい田舎だ」と言って欲しいです。

北多摩と西多摩をつなぐ架け橋に。

早期開通、人口倍増、若い人おおぜい!

市民祝賀パレード(提灯行列)

夢モノレール早期実現「生きているうち」にモノレール通過を見てみたい!

今日は日曜日。天気が良くて気持ちいい。駅まで行って本読みながらお茶して楽しいときを過ごしたいです。

モノレールが来たら、極力乗車していきたい。

今は武蔵砂川まで車です。料金は700円。バスは時間はかかりますが、乗ってはいは楽。往復460円。いつまで車を頼れるか、早く来い来いモノレール。

現在子どもたちは他と暮らしていますが、必ずふるさとの思いで帰ってきて欲しいですね。

ボランティア活動の盛んな街。

モノレールの実現で排気ガスの少ない新青梅街道を。

車のいらない社会。

観光事業に力を入れて全国にPRしたい。

モノレールに乗って飲みに行き、終電で帰ってくるぞ!

三世代、四世代でモノレールパーティーやお出掛けがしたいです!

転入して1年になります。1日も早いモノレールが開通することを願います。今日のこの出席数で本当に希望が持てました。村山に来てよかった。

ミニミニ講座

自分に合った上手な補聴器選び

目と同じように、加齢とともに耳も聞こえにくくなっていきます。聞こえの悩みを「仕方がない」とあきらめずに、ぜひ、耳のことや補聴器のことを知ってください。補聴器が必要かどうか、どんなものを選べばいいのか、価格はどうか、使いこなせるのか、いろいろ難しいことがたくさんありそうです。今回は、補聴器アドバイザーの丸山さんに、知らない間違いがちな補聴器選びについて話していただきます。

◆日 時 7月30日(木) 13:00～16:00

- ・前半 聞こえと補聴器のお話
- ・後半 お茶しながらの質問や相談など、おしゃべりタイム

◆場 所 ボランティア・市民活動センター シャベリ場サロンほほえみ

◆ゲスト 丸山 敏雄 さん(補聴器アドバイザー・人材パートナーズ登録者)

◆参加費 無料



丸山 敏雄 さん

ご利用ください「シャベリ場サロンほほえみ」



▲自動販売機



▲ベビーチェア



▲ティファール



▲電子レンジ



▲湯呑みセット

ご自由にお使いください

センター作業室を改造した
誰でも自由に利用できるフリースペース
予約不要、飲み物、食べ物、持ち込み可

ランチタイムに

個人でも、グループでも

お子様連れでも

使い方いろいろ

気軽にご利用ください

無線 LAN も利用できます



▲打ち合わせや軽作業に



▲パソコンコーナー



利用時間 開館日の8:30～17:00 (窓口にひと声おかけください)



NPO・協働 個別無料相談

NPO・協働 よろず相談

毎月第4土曜日 定期開催中

【7月の相談日】
25日(土)
13:00～17:00

無料!!

【8月の相談日】
22日(土)
13:00～17:00

※あらかじめ、電話・ファックス・メールで相談内容の概略をお知らせください。

予告

これからの講座予定

※いずれの講座も、定員を超えた場合、抽選になります。

目からうろこの写真講座

ママの
スマホ術

わが子を10倍可愛く撮るテクニック

可愛いわが子をもっと可愛く、記録に残せます。
ちょっとしたコツでスマホ写真の可能性が広がります。



【佐伯 直俊 氏】

フォレストスタジオ主宰。「緑を愛する会日野」代表。東京工芸大学芸術学部写真学科卒。学校行事撮影と卒業アルバム作成。建築、肖像写真などの撮影を得意とする。

- ◆日 時 9月3日(木) 10:00～12:00
 - ・前半 ママはレクチャー、子どもは託児
 - ・後半 子どもと一緒に撮影会
- ◆場 所 市民総合センター
- ◆講 師 佐伯 直俊 氏
- ◆参加費 500 円
- ◆定 員 15 人 (1～3 歳までの幼児とママ)

協働パワーアップ講座

心を動かすプレゼンテーション力

プレゼンテーションは、ただ資料を説明するだけではなく、相手にアクションを起こさせること。そのためのノウハウを学びます。



【倉迫 康史 氏】

「Ort-d.d」主宰。演出家。日本の近代文学や児童文学の作品群の構成・演出を手掛ける。洗足学園音楽大学非常勤講師として、実技の授業だけでなく、舞台芸術概論の講義も担当。たちかわ創造舎のチーフ・ディレクター。

【戦略・演出編】

- ◆日 時 9月18日(金) 19:00～21:00
- ◆講 師 倉迫 康史 氏
- ◆参加費 500 円
- ◆定 員 20 人

【パワーポイント編】

- ◆日 時 9月25日(金) 19:00～21:00
- ◆講 師 吉富 広 (IT サポーター)
- ◆参加費 500 円 (パソコン持ち込み)
- ◆定 員 10 人

◆場所はどちらも、ボランティア・市民活動センター

広報スキルアップ講座

大人気講座第2弾!
ワードでつくる

思わず手に入るチラシの作り方

ワードはとっても賢いソフト。チラシづくりの裏ワザ・達人技をたった一日で習得するパソコン実習講座です。



【坂田 静香 氏】

NPO法人男女協働参画おおた理事長。大田区の男女平等推進センター「エセナおおた」センター長。

- ◆日 時 10月7日(水) 13:00～17:00
- ◆場 所 ボランティア・市民活動センター
- ◆講 師 坂田 静香 氏
- ◆参加費 1,000 円
- ◆定 員 20 人 (ワードでの文字入力ができる方)

【申し込み・問い合わせ】

ボランティア・市民活動センター (市民総合センター2階)

TEL: 042-590-1430 FAX: 042-590-1436

Eメール: v.shimin@musashimurayama.org ホームページ: <http://musashimurayama.org>

エコキャップその後

ー経過のご報告ー

2015 年 5 月現在、皆さまからお預かりしたエコキャップは、引き続き「アルファジャパン」というリサイクル業者が回収しております。今回問題となった「NPO法人エコキャップ推進協会」を通しての寄付を中止し、現在のところ「アルファジャパン」に寄付金を保留しております。

ボランティア・市民活動センターでは、今後の経緯を見守るとともに、それ以外のルートでワクチンを寄付できる方法について、皆さまのご意見を伺いながら、検討してまいります。

ボランティア・市民活動センター長

これまでにお寄せいただいたご意見

- ◆さもありなんといった印象です。ぜひ、これを機会に形だけの活動はやめて目に見える活動を望みます。
- ◆なんだこれ！CO2 をまき散らして、協会に持っていく必要ないじゃん！直接寄付した方がいいよ。
- ◆はじめに結論ありきの問題提起に感じます。
- ◆ずてるものがワクチンになるなら、とてもいい運動だと思っていたのに……。
- ◆一生懸命集めていたのに、センターとしては止めるのですか。
- ◆捨てればゴミが、役に立つのだからいいと思う。
- ◆輸送時とリサイクル時の CO2 問題、売却価格と市場価格のズレ、キャップ交換収入より高い輸送費、回収実績と寄付金の整合、そして不明朗な運営経費、疑問点だらけです。
- ◆地域の課題であるごみ減量のためにも「環境意識やリサイクル意識を高める」という当初の目的に戻り、武蔵村山市内で完結する有効な手立てを考えた方がいいと思います。
- ◆このエコキャップの話は、そのストーリーが日本人のセンチメンタリズムにぴったりとマッチしていて、見事なものだ。運送費をかけるのではなく、ちゃんとした寄付金が集まるような仕組みに変えることが、もっとも重要なのではないだろうか。

今号の表紙

5 月 17 日（日）気温 28 度、加えて、参加者総勢 88 人の熱気が雷塚小学校体育館を満たしました。今回の「100 人会議」は「市長と市民のタウンミーティング」との共同開催。写真は、基調講演後、お招きした 5 人のパネリストによるパネルディスカッションの様子です。駅の無い武蔵村山市からの脱却は、長年にわたる市民の悲願となっています。今回を機に、モノレール延伸に向けた機運がなお一層高まることを期待したいものです。（関連記事 5 頁）

編集後記

梅雨に入りました。アジサイが色鮮やかに目を楽しませてくれています。「梅雨」の語源は諸説ありますが、中国から「ばいう」として伝わり、日本では、江戸時代に「つゆ」と呼ぶようになったといわれています。梅雨が明ければ夏!! 今年も、受け入れ施設、市民活動団体の皆さまの協力をいただき「夏の体験ボランティアキャンペーン」を実施します（関連記事 2 頁）。参加者の皆さまにとって、よりよき体験となりますように……。

（瀬川）

武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター広報紙『コラボ・バ』No.8（通巻 111 号）

2015 年 6 月 20 日発行（発行部数 30,000 部） ※年 6 回、偶数月発行

編集・発行 武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター（指定管理者：NPO 法人 むさしむらやま子ども劇場）

〒208-8503 東京都武蔵村山市学園 4 丁目 5-1 武蔵村山市民総合センター 2 階

TEL: 042-590-1430 FAX: 042-590-1436

Eメール: v.shimin@musashimurayama.org ホームページ: <http://musashimurayama.org>

全戸配布の『コラボ・バ』への広告募集!!

- ◆スペース 1 枠 4 cm × 8.5 cm
 - ◆料金 市民活動団体 5,000 円
商店・企業 10,000 円
 - ◆申し込み まずは、お電話をください。ご説明や原稿などの打ち合わせをさせていただきます。
- ※政治・宗教活動、公序良俗に反するものは掲載できませんのでご了承ください。

7月

8月

休館日

【7月・8月の休館日】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

休館日：月曜・祝祭日・年末年始・施設点検日